

第五期県立都市公園管理運営検討委員会第1回委員会

1 日時

平成31年2月1日（金）13時30分から16時10分まで

2 場所

盛岡市勤労福祉会館 4階 401、402 会議室

3 出席委員

吉田基、内田尚宏、工藤健人、林晶子、佐々木史恵、佐藤さよ子、大坊章

4 議事

○ 会議の公開

本日の会議の公開の可否について委員会に諮った結果、公開することに決定

(1) 委員長の選任等について

内田尚宏委員を委員長に選任することに決定

吉田基委員を職務代理者に選任することに決定

(2) 平成30年度県立都市公園の管理運営状況について

① 岩手県立御所湖広域公園

② 岩手県立花巻広域公園

③ 内丸緑地

(3) その他

.....

議事 (2) 平成30年度県立都市公園の管理運営状況について

① 岩手県立御所湖広域公園

○ 指定管理者 KOIWA I から資料により説明

委員長

ありがとうございました。ただいまの説明に対して、委員の皆さんから御質問、御

意見ををお願いします。

委員 5

本当にきめ細かな管理運営をなさっていてびっくりしました。小さいところまでこだわってやってらっしゃることに本当に感服しております。

さらに、デジタルカウンターを設けたということで、どのくらいの方たちが御所湖広域公園を利用しているかということが分かってきます。利用人数というのは、どうやってカウントができるのか、すごく難しいところだと思います。それをここまできめ細かにやるということは素晴らしいと思います。つなぎ温泉では、盛岡市への入湯税を納めていますので、盛岡市から何人分の入湯税が入りましたという報告が来れば、それによって正確な人数、宿泊者人数や日帰り入浴者の人数が出るわけです。公園の場合はそういうことが分からない中で、より多くの人たちに利用してもらうための策を練りながら、いろいろな工夫をなさっているということです。本当に素晴らしいと思いました。

それで、利用者の目標人数はクリアされているんですが、これは対前年では落ちているわけですか？平成 29 年度は 27,000 人あったのが、平成 30 年度には 26,000 人ということで、ちょっと落ちているのでしょうか。つなぎ温泉の場合は、ずっと対前年でマイナスが続いていたのですが、ここ 1 年ほどはプラスに転じまして、宿泊人数で 105%になっています。でも、これは日本人だけでは 100%を割ります。外国人が入ってはじめて 105%です。日本人だけをカウントしたらたぶん 100 にならない、そのくらい外国人が増えているということです。

昨年の委員会でも、看板などをできるだけ多言語化してほしいとお願いしていたことに対して、今年度はトイレなどいくつかやっていただきました。ですが、多言語化表示とかパンフレットの作成については、さらにもう少し積極的にやっていただきたいなと思います。今年は「いわて盛岡シティマラソン」があります。先日の盛岡市長のお話では、このシティマラソンには外国からの参加者も多数来る予定だということでした。ということは、それに伴って、応援に来る外国人の方々も宿泊者としてつなぎ温泉に来るのではないかと考えられます。つなぎ温泉もフルマラソンのコースに入っています。どういうルートを通るのか分かりませんが、ひょっとしたら御所湖広域公園のあたりをずっと走るかもしれません。それを応援する方々がトイレを使ったりとか、公園に立ち寄ったりということもあると思いますので、そういった多言語化をもうちょっと積極的にしていただければと思います。岩手県ではインバウンド用補助金（外国人観光客等受入促進環境整備事業補助金）というとても使いやすいものを出しております。指定管理者が使えるかは分かりませんが、対象となるものがあれば経費の半額を出していただけるという制度です。積極的に活用していただければと思います。

委員 2

つなぎ温泉観光協会では、もちろん日本語のパンフレットも作っておりますけれども、何年か前に何かの補助金をいただいて多言語化のパンフレットを作成しました。繁体字のものと英語版のものを作っております。今日お持ちしたものは何年か前のパンフレットですので、もう廃墟になっているところや、道路がなくなっているところもありますが、外国人の方に非常に喜んで使っていただいております。ただいま増刷をしておりますが、内容を新しいものに校正して、春までにより見やすいマップに仕上げることにしております。このパンフレットには場所だけの説明しか載っていないのですが、御所湖広域公園さんに中身の説明等が入ったパンフレットをより分かりやすく多言語で作っていただければ、こちらの方でも案内しやすいかなと考えております。

あと、観光協会からお願いがあります。温泉街の入り口（繫大橋南園地）に、駐車場の広い大きいお手洗があります。外国人の方がお手洗いを非常に探しております。観光案内所がすぐ向かいにあるものですから、お手洗いはどこですかと聞かれたときにはその園地のお手洗いを案内するようにしています。ですので、多言語化に対応するようお願いをし、早急に対応していただきましたので助かっております。もう一つお願いしたいのは、駐車場に止めると真正面には外国語表記があるのですが、県道沿いには表記がないために、お手洗自体どこですかという疑問を持つ方が多いです。あまりにも立派なお手洗いなために、何かの管理事務所と思うお客様もまだまだ多くいらっしゃるようです。県道に面したところにも、トイレの分かりやすい表記と多言語化をしていただければと思います。あとは、どうしても12月から3月までは凍結等のこともありましてお手洗いが利用できない時期となりますので、その期間は利用できませんという表記もあれば、より一層いいのかなと思っております。できる範囲で構いませんので、やっていただければと思います。

委員 5

あと、どの資料だったか、事前に見てきた資料の中に、御所湖広域公園の管理をなさっているみなさんは、統一のユニフォームを着て、お客さんから分かりやすくするようにしています、という記述があつて、これも素晴らしいなと思えました。どうせならディズニーランドみたいにちょっと派手なものでもいいのかなと思ったりしています。

委員長

リクエストもありました。ディズニーランドはなかなかですね。

植栽に関しても、眺望を良くするために木を切っています。私も見に行ってみましたけど、眺めが良くていいなと感じました。

あと、やはり気になるのはクマとイノシシです。これもGPS等を使ってちゃんと調べています。その辺りの対策もとられていますが、今後も心配だなと思えます。

委員から、利用者が少し減ったのですかという質問がありました。尾入野湿生植物

園と繫大橋北園地はちょっと減っているんですかね。その辺りの理由で考えられることはありますか。

指定管理者

駐車場利用台数の増減の要因はなかなか分かりにくいところがありますので、ここでは置いておきます。まず利用者数の推移ですが、これは平日だけではなくて土日も含めた推移です。これを見ますと、町場地区園地については去年から減っていることは減っているのですが、全体的に見るとそんなに減ってはいないのかなと感じています。ファミリーランドにつきましては、土日を含めて、今年度は指定管理になってから一番の入園者数になっています。ちなみに、平成27年度はシルバーウィークがあった関係で利用者数が突出した年になっています。今年度は、平日の利用者数だけを見るとガクッと下がっているようにも見えますが、その要因は報告のとおりのことだと思います。

先ほど配っていただいたつなぎ温泉のパフレットにつきましては、部数がふんだんにはなかったものですから、ラミネート加工をして、先ほど紹介した曲がり家の公園案内所に繁体字のものと英語版を置かせてもらって活用しておりました。この表記を参考に、来年度は外国語表記の案内をもっと増やしたいと思っています。

委員3

外国人の方がいっぱいいらっしゃるというのは、宿泊もしてということですか。宿泊等もやりながら、公園も見るということをやっているのですね。

委員2

はい、そうです。もちろん宿泊がほとんどです。外国人がいらっしゃるというのは、ほぼ宿泊です。

委員3

なるほど。わかりました。

委員1

施設管理者として本当に素晴らしい管理をされているのは、実際拝見して感じたところですし、先ほどの発表においても改めて認識いたしました。

そちらの方面の話になると、施設の老朽化と施設管理という尽きない話になると思います。報告のありました、成果指標として利用人数、来園者数とかそういったところに着目せざるを得ないとはいえ、自然環境、天候等さまざまな要因があり、閉園した期間もありましたし、単純に利用者数で評価されるのは可哀想かなというのが感じたところです。

課題として挙げていた平日の集客の増加は、つなぎ温泉の観光施設においても何十

年も前からある問題だと思いますが、平日の利用者数に着目する時点で、地域住民の利用だけでは確保できないという意味で、観光という分野を意識せざるを得ない状況にあると思います。発表自体にはありませんでしたが、運営母体である小岩井農牧さんとの連携だったり、今お話がありましたつなぎ温泉の地元の皆さんとの連携をどのようにやってきたかというあたりを、簡単に結構ですので、こういう取組をされているといった話をお聞かせ願えればと思います。施設管理者としては余計な話かもしれませんが。

指定管理者

平日の利用者の増につながる話題を一つ。町場地区の花について担当からお答えします。

指定管理者

本日お渡ししている「町場地区園地の花による集客効果について」という資料を御覧ください。1枚目ですが、妙蓮の開花によって来園者が増えたと考えられることから、妙蓮が開花したという報道があったときから約20日間（平成29年8月30日～9月18日）の来園者数を、過去5年にわたって比較してみました。そうすると、平成29年は、妙蓮はさておき、平日で2千人、1日あたり158人、土日祝は1日500人近くという来園者があり、これはなかなかありえないことだと思います。ただ、その時期にはキバナコスモスも咲いています。キバナコスモスの開花状況が非常に良かったのは平成27年で、そのときも来園者はそれなりに入っています。今年は、先ほども話しましたが、ちょっと早めに花が咲いてしまったということと、暑さであまり草丈が出なかったということがありました。9月に入ると雑草の方が目立つようになって開花の時期が終わったような感じで、9月の利用者の入り込みが減っております。ただ、逆に、「こういう花が咲いたよ」とテレビや新聞で取り上げられると、そのときは数百人でわっと来ますので、そういうところにちゃんとPRできるようなお花畑を作らないとダメだなと感じました。

2枚目は菜の花の時期の集客数です。開花状況は26年、27年が非常に良く、それを受けて28年も多くの来園者がありました。ただ、このときは他の園地の開花状況が悪かった年で、町場の方にかなりの客が来ております。ここにあるとおり、平日は60人くらい、土日だと300人前後が来ておりますので、この方たちが温泉や周辺の施設も回っていくのかなと思います。花を目当てに訪れる方をターゲットにした管理をちゃんとやらないと、「今年はダメだった」と言われるようでは人が来なくなります。30年度を見ていると、「あのとき良かったから今年も撮りに来ました」と言って写真を撮っている方が非常に増えてきています。町場に花の写真を撮るためにいらっしゃるので、その人たちの期待に応えられるように、土壌改良や雑草の処理等を心がけております。なかなか難しいですが、やはりここで人が来れる状態のものを作ることが非常に大事ではないかなと考えております。

委員長

ありがとうございました。やはり花の魅力って大きいものですね。

指定管理者

温泉やホテルに対しては、花だよりとか御所湖随想を配布していますので、それについて担当からお答えします。

指定管理者

皆さんにお配りしている「御所湖随想」ですが、月に一度作成し、温泉関係、つなぎ温泉と鶯宿温泉と、町内の各関係者の方にお配りしております。それから、平日の利用ということで、いろいろな魅力作りについて報告したところですが、この他に、子育て世代のお母さんと子供さんが平日に気軽に来られるような場所ということで、雫石町との取組もありました。来年度はそういった取組を強化していきたいと思っています。あと、身障者の方々が利用できるバリアフリーの部分、これをもう少し分かりやすくして、また、専用の駐車場を設けて積極的に利用していただけるような体制を作っていければと思っています。

それから、情報発信の部分では、先ほどの報告にあったように、町場地区にバーベキューのお客様がたくさんいらっしゃっているということで、その方々に園内、他の園地の情報を知らせるために、炊事場のところに各園地の紹介写真を掲載しようと考えております。

指定管理者

バーベキューの利用者の方々は、バーベキューだけをしてそのまま帰ってしまうので、他に園地があると思わない人もいるようです。こちらの発信がもう少し足りないと思うので、来年度はその辺りを強化したいと思っています。バーベキューを楽しんでそのまま帰ってしまうのは、御所湖広域公園で遊んでいるという認識がないためかもしれません。

委員長

バーベキューの利用者は、世代的にはいくつくらいの方たちですか。

指定管理者

若い方から年配の方、家族連れとさまざまです。また、常連さんが増えたと思います。花巻からわざわざ来たという方や、中には仙台方面から来る方もいます。秋田からもいらっしゃっています。バーベキューができる公園という情報を見ていらっしゃるようです。

委員長

休日が多いですか。平日じゃなくて。

指定管理者

バーベキューの常連さんは、平日が空いていると分かっているの、そこを狙って来ます。先ほど少し話しましたが、土日は日によっては利用者がいっぱい遊ばないということで帰られる方もいます。また、3時すぎくらいにバーベキューをしに来る方もいて、「4時半には閉めなければならないです」と声をかけることもあります。

年代はいろいろですが、だんだんグループでも来るようになりました。職場のレクリエーションを兼ね50人を超えるような団体で来る方もいます。

委員長

他の施設や国立の公園では、バーベキューの後のマナーが悪いとか、掃除費も含めてお金を取って運営しているところもありますが、そういったところの問題は今のところはないですか。

指定管理者

最初に受付で注意事項の確認はしているので、問題はあまりないです。ただ、酒を飲み過ぎたのか、中には車を置いて帰る方もいました。また、お客さんによっては騒ぎになって、警察を呼んだりということも平成29年度にはありました。利用者同士の目もありますので、比較的マナーは守られていると思います。ただ、ゴミは持ち帰るようにと呼びかけても、炭を捨てるところにゴミを入れて知らんふりして帰る方もいますので、その都度そういうことがないように清掃等に努めております。

委員6

本当に素晴らしい限りだなと常々思っております。

指定管理者にというよりも、県に伺いたいことです。開園から何十年と経ってきて、おっしゃったように外国人の方とかお客さんの層が変わってきていますし、子供の数も減っています。他の地域の大きな公園と比べて、ここの魅力は何かというような戦略を立てるときに、何かをやめるという選択をしなければいけないと思うんです。非常に老朽化してきている施設がたくさんある中で、これを維持するのは大変な労力だと思いますが、将来こういうのをやめて、こういった外国人向けにリニューアルするというような選択が可能なのかどうかをお聞きしたいです。

事務局

先ほど跡地利用の話がありましたが、スイミングセンターは老朽化して取壊しをしています。やはり全体の中で、それを見ていきながらまさに民間感覚、経営感覚をもとに実行して、指定管理者さんからも知恵をいただきながら、節目ごとに考えていか

なければならぬと思います。大きな投資というのは力がいらぬので、各公園の計画的な維持、修繕を行っている中で、限られた予算、財源の中で工夫をして、まさに委員からお話があった客層の変化等に対応していくこともきちんと考えていかなければならぬだろうと思います。こういう一回一回の積み重ねをそういう検討に反映させてまいりたいと考えております。

委員長

そういう意味では、絶えずお客さんと接している指定管理者は、その新しいニーズを読み取って伝えていく、提案していくということも必要になってくるのかなと思います。

外国人の公園の利用というのはどうですか。

指定管理者

アジア圏の人が多いらぬのですが、外国人かどうかは対面で話をしないと分からないです。受付に来る人でないと、外見で判断できる外国の人は少ないというのが状況を把握する上では一つ問題ではあります。日報には、外国人のお客様と気が付けば何人くらい来ているというのをシーズンの途中から記録するようにしてしまして、着実に増えているということは感じております。

委員長

これは委員に聞いたほうがいいのかもかもしれませんが、外国人の方、特にアジアの方は割りと平日が多いですね。

委員 5

はい。

委員長

団体で来て、どんな過ごし方をしていますか。

委員 5

団体の方は、おそらくバスで来て、バスで帰っているの、うちには寄らないと思います。うちは個人客しか来ないので。3泊、4泊する方が結構いて、そうするとサイクリングに行ったりします。そうした方たちは、御所湖広域公園にも行っていると思います。

あとは、外国人の方たちはただただ歩きます。お天気が良い日、雨がちょっと降っていたとしても、手づくり村までは平気で歩きますし、御所湖一周もしてきます。だから、出かけるときにパンフレットを預けます。欧米の方たちは特にそうですね。朝出て行って、夕方帰ってきて、「どこに行ってきたの?」と聞くと、ここ、ここ、ここ

と言って印を付けて教えてくれます。ぐるっと歩いてくる方たちが多いです。アジア系の人は買い物に行ったりしますけれども、欧米の方たちはひたすら歩いて、つなぎ温泉や雫石町から離れない範囲で一日、二日を過ごします。あと、小岩井農場や手づくり村には、バスがある時には行きますね。そんな感じです。

委員長

そうですね。欧米の方たちは平日長期滞在して、ひたすら歩いたりという過ごし方なので、やはりそういった案内等が有効になってくるのかなというのはありますね。時間が迫ってきましたが、他によろしいでしょうか。

指定管理者

お客さんから町場地区園地は3歳未満の子供が遊ぶところが全然ないとたびたび言われるんですが、この度幼児向けの遊具の設置がなされそうな様子なので、非常に助かるなと思っております。どうしても3歳未満の子もふわふわドームに乗りたがります。こちらも、あまり無茶をしない限りは見守る形でやっているんですが、何も言わないと遊び方がだんだんエスカレートしてきます。そういうときに、小さい子供が遊べるような設備が非常に大事だなと感じております。随時、遊具の更新がされているので、非常に助かっております。

委員長

そうですね。小さいお子さんとお母さんに来てもらうことを考えるのはとても大事だと思います。あと、噴水の池ですか。子供の転倒はありましたが、柵で囲って入っちゃダメとするのではなく、子供は水が好きなので、遊ぼうとしたときに事故に繋がらないような対策をとるという考え方は、こういう公園の使い方としてはとても大切だと思って聞いていました。

老朽化による事故、特に電気施設というのは怖いです。その辺りは気付いたらすぐ対応するべきですが、これは県でもそういった火災といいますか、事故に繋がりがかねないものはすぐ対応するような準備はできているんですね。

事務局

指定管理者さんからそういったものは即時報告をいただきながら、緊急性の高いものについては対応しています。今年度も、クマの出没に伴う草刈り等を、緊急で予算を手配したということがありました。緊急性に依拠してしかるべき対応はしています。指定管理者さん、盛岡土木、それから本庁の私どもの連携はきちんととれていると感じています。

委員長

それでは、KOIWA Iの皆様、ありがとうございました。安全で楽しい御所湖広

城公園の活用を進めていっていただきたいと思います。

.....
② 岩手県立花巻広域公園

○ 指定管理者 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団から資料により説明

委員長

ありがとうございました。ただいまの説明に対して、委員の皆さんから御質問、御意見をお願いします。

委員 4

本当に御苦勞をかけて、頑張っていたで大変感謝しております。

どちらの公園も人数の増減について話がありましたが、これは自然のものであって天候次第なので、あまり数字にはこだわらない方がいいかなと私は思っています。ただ、いろいろなアイデアで一生懸命やっているのは大変御苦勞様でございます。あと、テニスコートだって、それこそ大坂なおみ効果は絶対あると思います。用具等もだいぶ売れているようなので、今年の春辺りからおそらく来るのではないかと思います。

今年はクマの話が出ないと言っていますが、クマは現実にはいます。今年は雪が少ないので、今も歩いています。私の施設の利用者に説明するのは、「出るクマは怖いけど、いるクマは怖くない。ただ、ひとりで行動はしないように。施設内はいいけれども、施設外に出るときには、声を出したりラジオをかけたらしなさい。クマの方が人がいることをちゃんと分かって行動するよ。」ということです。そうしたら、あまり怖くないと言ったものだから、ある利用者が私に「写真を撮ってきた」と言うんですよ。何の写真だったかという、クマの写真だったんですよ、それも木に登っているものを。いきすぎのお客さんもいるので、それは十分気をつけないといけない。花巻広域公園にも今年も間違いなく出ると思います。というのも、今年も小さい子供が生まれていますので。それがゴルフ場に砂かぶりに行くと思います。前にも言ったとおり、クマに関しては、遠目で見るだけでいいと思います。ただ、困っているのは、イノシシも出始めていて、これが怖いです。イノシシやニホンジカが増えつつあるので、逆に怖いかなど。動物に関しては以上です。

私はこれ以上のことは言えないですが、大変御苦勞様でした。今年もどうぞよろしくお願いします。

委員 3

行ってみると、グラウンドゴルフの利用状況はすごいですね。一気に 150 人くらい。花巻の街の中にこんなに人がいるのかというくらい、私も見てびっくりしています。そういう人たちがうまく利用できるように努力していただきたいと思います。本当に

楽しみにしているようですから。

それから、私が楽しみにしているのはカタクリの花です。去年の春、4月に友達と行ってみたんですよ。その友達はヘビが嫌いで、遠くにマムシが見えたみたいで、怖がってちゃんと見られませんでした。それはいいんですが、カタクリの群生地を見たい人もいっぱいいます。そこの表示がわかるように、ここを見てくださいという表示があったら喜ぶんじゃないかなと春先の様子を見て思います。

すごく努力していると思いますし、私も祭りに顔を出してみると、すごく参加者が多かったです。これからも頑張ってもらいたいと思います。

それから、やはり老朽化しているのも、その対応にどんどんお金がかかるときに、将来的に公園管理をどうしていくのかということも考えていかなければならないと考えております。

指定管理者

感想のようなことになりますが、私の方からお答えします。まずクマの話がございました。後で相談しようかと思っていましたが、私たちは冬の間も巡視するのですが、この間クマの足跡と思われるものがありました。また、今シーズンもゴルフ場の周辺でクマを見ております。ただ、委員からも言われたように、あまり騒ぐものではないし、騒いでもどうしようもないとは思っています。そのときは、たまたまクマがいたので、ゴルフの業者に「そこにいましたよ」と話したら、業者の方もうちの状況を分かっているものですから、「はい、そうですか」というやり取りで終わります。クマについてはそういった状況です。ただ、冬のクマはどうなんでしょうか。冬眠しているわけではないんですか。

委員 4

冬眠は、雪が多くなると食べ物がないので寝るしかない、というものです。寒さばかりが要因になるものではないですから、食べ物があれば寝ないです。今は雪が少なく、どんぐりとか食べられるものがあるから冬眠に入らないわけです。

先ほどの御所湖広域公園のクマの話でもありましたが、草を刈ったり、要するにお互いの姿が見えればいいですよ。偶然会うと襲われる。それと、畑で作業しているおじいさん、おばあさんが襲われたという事故がありますが、あれはクマにしてみれば自分の餌場なんです。人間の畑かもしれないけれども。頭を切り替えないといけません。クマの頭で考えれば畑に出ることは別に怖いことではない。ただ人間が勝手に怖がって脅かして、ちょっと騒ぎすぎというか、私はそう思います。

指定管理者

それから、カタクリの話が出ました。私たちはフェイスブックでも紹介はしているんですけども、もう少しはっきり分かるような形でやりたいと思います。

あと、あのあたりには「マムシに注意」という看板も前からあるんですけども、

看板のある場所に出るとは限りませんので。マムシは私も何回も見ているし、職員も直接捕まえています。今年度はあまり多くなかったですが。いずれにしても、そういった注意喚起をしながら利用者さん方に楽しんでいただけるような工夫はやはり必要なのかなと思っております。

委員長

ヘビやクマについては、御所湖広域公園でも同じ問題を抱えていると思いますし、対応もしているようです。草刈りをしているというのは報告の中でありましたが、有効な対策であるとか、ありましたら参考に聞いてもよろしいでしょうか。

K O I W A I

とにかく出会い頭の事故の防止がまずは第一だということで、そういった危険があるところの草刈りと、あとは注意情報を表示できるところは表示するというのでやっています。あと、先ほども紹介しましたが、矢櫃地区水辺園地を閉鎖したときに、利用者にどうしても行ってほしくない場所は何か表示をするしかないだろうと思っています。それ以降は自己責任になってしまうのかなと思います。

委員 7

クマにとっては餌場だとありましたけれども、本当にそうなんですよ。何もなければ襲って来たりはしないですけれども、餌場を荒らされるとなると襲ってくるので。私の知っているところでは、そこにクルミの木や栗の木があって、それはクマにとっては餌場なので、切ってもらなどしました。例えば、どんぐりやブナとかそういった木は、クマ対策を考えたら、無くしていったらいいのかなと。植栽管理との兼ね合いが難しいとは思いますが。

委員 1

どうもありがとうございました。全体的に集客というか利用者が減少傾向なのは時代背景で仕方がないものがあるかと思いますが。年間の行事というのは、今時期に計画を立てて、カレンダー上も日付を決めるような形で進めてらっしゃるんですか。

指定管理者

はい。

委員 1

大変素晴らしいと思いますし、人数も費用もなかなか掛けられない中で苦勞して運営されていることが、現地を見ても本当にわかりました。

なんとかして効率化してやっていかなければいけない中で、利用者のターゲットが

花巻地域周辺だと思いますし、新聞広報も花巻周辺を中心に配られていると思われま
す。意外と地域の外には花巻広域公園の存在を知らない方たちが多いと思うので、地
域住民をターゲットにすることでよろしいかと思えますけれども、利用者が減ってい
るという認識であれば、もっと広域に目を向けたほうが。先ほどのインバウンドの話
と重なりますが、もうちょっと視線を広げた方がいいのかもしれないと思います。

それと、スポーツ振興事業団としてはみただけの運動公園（県営運動公園）の指定管
理もやってらっしゃると思うんですが、拝見した感じだと、同じような企画をやっ
てらっしゃいます。うまく連携してやることによってプラスに働くこともあろうかと
思うんですけど、施設間の連携については内部でどうなっていらっしゃるのかお聞き
したいと思いました。

指定管理者

御指摘のように、利用者の大半は花巻、北上、奥州で、盛岡からも来ます。ゴルフ
の利用者の4割くらいは盛岡からです。そういった利用者層ですので、広報としては
今あるもので十分伝わっているのかなと思っています。そのほかにもるぶも使って
おります。県外向けとしてはるぶさんにも推してもらっています。

利用者数が減っているということですが、どうしても子供の数が減っているとい
うことがあります。ですが、休日に関しては、天気さえ良ければ結構来てくれると感じ
ているので、あまり私自身はそんなに危機感を感じていません。よく利用してもら
っていると思っています。

運動公園のイベントとの重複ですが、重複しているイベントというとグラウンドゴ
ルフ大会等だと思われます。その影響についてあまり今まで考えてみたことはなかつ
たので、考えてみたいと思います。グラウンドゴルフに関しては、先ほど報告したよ
うに毎回ほとんど定員に近い人数が来ていますので、あまり対策は取らなくてもいい
のかなという気がします。いずれにしても、連携してお互いに相乗効果があるよう
なことが考えられるのかどうか、今後とも十分に検討する必要があると思いますので、
やらせていただきたいと思っています。

委員長

これでいいんじゃないかというのは、対応能力がいっぱいということですか。

指定管理者

対応能力がいっぱいというわけではなく、先ほどの報告でも話しましたように、秋
にもう1回ノルディックウォーキング大会を増やしますし、まだやろうと思えばやれ
るんですが、今度は逆にサービスの質についてどうなるのかなという問題も出てくる
気がします。利用者数については、カウンターで数えているわけではなくて、大雑把
にカウントしています。利用者数のだいたいの傾向としては例年並みだという感じで

す。ですので、もう少し・・・

委員長

増やしていきたいということですか。

指定管理者

増やしていきたいとは思いますが。

委員 7

せっかく県の広域公園であり、今こういう体験ができる公園、子供たちがこういったスポーツを実際に安心して体験できる施設はとても大事です。いろいろな体験が減っている中で、重要度と言いますか、役割ってとても大切だと思います。そういう意味では、もっと知ってもらうことで利用も広がると思います。

あと、インバウンドの話もありましたが、観光客は花巻空港に降りて、そしてみんな盛岡とか田沢湖とかに行ってしまうんですね。花巻温泉には行くんですけど、なかなかあのエリアでの過ごし方、プログラムの提供がちょっと足りないかなと思います。そういう意味ではこの施設というのはもう少し広がりを持ってもいいんじゃないか、せっかくある施設なのでより有効利用は図れるんじゃないかなと感じました。

委員長

他に委員の方、どうでしょう。

委員 6

私はむしろ自主事業の豊富さに非常に驚いたと言いますか、工夫されているなど感心したところでした。こんなにおもしろいスポーツもあるんだなど、さすが専門の団体なんだなと思ったところです。

伺いたかったのが、写真で見ると参加者の高齢化が見えるような気がします。評価シートのところにもありましたが、若い人をどう広げていくかという課題があるところで、花巻市の学校、特に高校はスポーツが盛んで、冬場だとクロスカントリーをやったり、あとゴルフを部活として、あるいは大学生でしょうか、あると聞いたことがあるんですけど、こういった若い人のクラブ、サークルというのは利用があるんでしょうか。

指定管理者

ゴルフに関しましては中央高校が岩手県ではNo.1で、中央高校ゴルフ部さんには年に何回か来て利用していただいております。年に3回くらいでしょうか。

それから、当公園は冬場12月から3月末までは閉園です。雪がなければ、12月の初めと3月後半は、テニスコートとゴルフ場については早めに開園、あるいは遅めに閉

園としていますが、基本的に冬場は閉園ですので、積極的にノルディック関係の事業をやってはおりません。ただ、この時期スノーシューを履いて散歩したいという方がいまして、その方については、申し出があれば、安全に十分気を付けていただくことを条件として利用を認めています。

委員 6

ありがとうございます。あと、オリエンテーリングって非常におもしろい、ユニークな視点だなと思って関心を持って見ていました。最近だとフォトログイニングと言うんですかね、写真を撮りながらオリエンテーリングをする競技が全国的にブームだそうで、ある1ヶ所でやりますよと言うと、全国からファンの人が集まる大規模イベントになることが多いということです。もし協会の協力があればチャレンジしていただくとおもしろいかなと思って聞いておりました。よろしくお願いします。

指定管理者

参考にさせていただきます。

それから、利用者数の現状に満足するのはどうかという話もありました。確かにそのとおりですので、広報についてはもう少し工夫したいと思います。例えばパンフレットを空港の方に置いたりなど。パンフレットも費用等の問題で古くなったものをまだ更新できていないということもあります。だいぶ昔に作ったパンフレットということもありますので、その辺りからまずは変えていかなければならないと思います。今は紙媒体ではなく、フェイスブックなどもありますので、そちらの方であればなんとか情報を広めることができますので、工夫しながらやっていきたいと思います。

昨日上海便が就航するという話もありました。ただ、うちの公園には御所湖広域公園と違ってアジア系の人々が来た気配が私の見る限りではありません。それから、欧米の方は一昨年にひとり来たくらいです。花巻市内に住んでいる外国人の方が家族で来ることはありますけれども、観光として利用される方はまず皆無だと思えます。それもPRの仕方の問題と言われればそれまでですが、そういった状況です。

委員 3

でも、台湾から来る方は、バスで来てバスで帰っていくので、全然利用なんてしないと思いますね。

委員 4

花巻温泉自体が宿泊だけに力を入れているので、宿泊客がほとんど外に出ないんですよ。中には2、3人、他人の屋敷を平気で歩いて花を摘んでいく人はいますが。

委員長

わかります。個人でレポートで来る人もだんだん増えてきていますね。あと、公

園のようなところを歩くというのは、欧米の方は大好きだったりします。そういった意味でいい場所だなと思いますし、安全に体験できる場所ですからね。

指定管理者

ぼちぼち増えてきているのが夫婦でノルディックウォーキングに来る方です。むしろそういった人たちの健康づくりという面では非常にいい場所であると思いますので、もっとPRする必要があるかと思いました。

委員長

先ほど委員からもありましたが、自主事業ですね。指定管理者が自分たちでアイデアを出して、しかも講師も自分たちで用意するわけですね。こういうことってとても大切だし、大変なことだと思います。こういったプログラムを続けて、より集客も伸ばしていただければと思います。

それでは、公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団の皆様、ありがとうございました。

.....

③ 内丸緑地

○ 指定管理者 特定非営利活動法人緑の相談室から資料により説明

委員長

ありがとうございました。ただいまの説明に対して、委員の皆さんから御質問、御意見をお願いします。

委員5

ここ数年来の懸案であった吸い殻入れとヒマラヤシーダがこんなにきれいになるとは思っていませんでした。ただ、ヒマラヤシーダがなくなって、倒木等の危険が無くなったのと、葉っぱが落ちるといった問題は心配は無くなったのですが、今度は桜山さんの飲食店が良く見えるようになったという景観上の課題もあります。

先ほどフェンスの話がありましたが、フェンスをどの辺りにどう建てられるのかということ。それからヒマラヤシーダを抜根した跡に新しく良い土を置いたそうですが、そこは何か再利用がされるのかということ。それから切り出したヒマラヤシーダの二次利用によって、例えばベンチを作るとかそういったことがあるのかということをお伺いしたいと思います。

委員長

これは県になりますね。今後の利用なり、説明等についてですね。

事務局

フェンスは先ほどの発表で東側、公会堂前緑地の写真で映ったような転落防止の柵を作るということです。高いものという予定ではございません。西側、県庁前には転落防止柵がなかったものですから、安全上の必要なものについて設置をするということです。その分再開予定が、公会堂前緑地は1月に再開しておりますけれども、県庁前緑地は3月までかかります。

再利用についてですが、伐採後は、少し景観的な落ち着きも見たいということで、利用者の方々の意見もお聞きしたいと思っておりますし、時間的間隔を置きたいということで、随時それらについては検討していきたいということです。

それから3点目の木材の利用ですけれども、盛岡土木等を含めてコスト的なことも考えた結果、今回はチップ材として売却をすることでトータルの事業費を低減させようということにしました。盛岡城跡公園ではベンチとして利用したということも聞いており、それも話には上がったんですが、最終的にはチップ材としての売却ということになりました。

委員5

ありがとうございます。

委員長

よろしいですか。他に委員の方、何かありますか。

非常に目に付く公園です。利用というよりは市民、県民の目に付く場所にある。いい場所であり、また新しい利用もされてきていることなんですけれども。

委員1

どうもありがとうございました。いつも清掃等拝見しておりまして、本当に頑張って管理されているなど、市民としては有り難く感じておりました。こちらの公園の利用について、発表の中でイベントの紹介がいくつかありましたけれども、指定管理者に申し込んで借りるとか、そういう管理をされているわけではないですよね。県ですよ、あくまで今日の発表で紹介したあたりは。

指定管理者

そうです。

委員1

ボランティアを集めて清掃を行っているということで、大掛かりなものがありましたけれども、ボランティアを集めるのは大変なんですかね。70人集まったというのもありましたから。他の地域でもボランティア集めは苦勞されているかと思いますが、

どのように集めていらっしゃるのか教えていただければと思います。

指定管理者

ボランティアには大きく分けて3つあります。今お話があったように園芸関係のボランティア、これは毎年3月の広報等に載せて公募して、だいたい20~23名のあたりでまとまります。このボランティアは岩手公園での活動が目的で始まっておりまして、岩手公園のふれあい花壇や花時計アルペン花壇など、全部で4ヶ所くらいあるんですが、これらの花壇整備の流れで、内丸緑地の方も花で癒しの空間を作ろうということでコンテナガーデン、プランターの整備を行っています。

それから、福祉事務所から日中活動の一環でボランティア活動をさせてくれないかという話があって、内丸緑地だけでなく岩手公園も含めて、そのときの状況を見ながら振り分けをして清掃活動を行っています。かつては30名ほどいましたが、今は10数名の方が週2回来ています。

もう一つ、モリモリプロジェクトというNPOアイディングの方が中心になっているボランティアですが、市議会議員も入っておりまして、これが2年前からサンビル前の亀ヶ池の清掃ですね、それに引き続いて鶴ヶ池の清掃も行っています。今回は、先ほどもあったように県庁前の亀ヶ池の清掃をやっていただきました。これは70人くらいで、集まったメンバーを見ると、学生さんとか一般市民とかいろいろな方が混在してやっています。このモリモリプロジェクトは、今後も岩手公園の清掃活動をやりたいということで、すでに31年度は鶴ヶ池の方をやってみようかという話が出ています。

その他にいろいろな方のボランティアがあります。老人クラブ、連合会、清掃協会などがありますが、どちらかと言えばそちらは岩手公園での活動が一番多いですね。うちがやってくれと言うのではなくて、そういったボランティアグループの方から、ボランティアをやりたいけどどうしようかと相談があったときに、振り分けてやっていただいています。

委員長

ボランティアの方たちに支えられていますね。もちろん緑の相談室の方たちが一生懸命やっている姿を見て触発されることもあるんじゃないかと思います。

水たまりや冠水がありますよね。あれについてはどのような対策を、協議して進めていくとありますが、原因は何なんですか。

事務局

状況としては、公会堂側は平成28年度に舗装を打ち換えました。透水性舗装ということで、アスファルトの中の石の隙間を縫って水が地下に浸透していく形の舗装ですけども、もともと公会堂側につきましては、周りの道路よりも低い地形になっておりますので、どうしても水がたまりやすい構造になっております。公会堂側の緑地に

については、端に側溝等を付けているわけでもありませんので、あくまでもアスファルトに染み込んでいくことで排水がされているという構造です。もし根本的に解決するとなりますと、今度はどこに排水を抜くかという話も出てきますので、少し検討と言いますか、対策をすとなればお時間をいただくことになると思います。

29年度には西側、県庁前の緑地も同じような舗装で直しておりますが、あちらの園地はどちらかと言うと周りの土地よりも少し高くなっていますので、その分水がはけやすいという違いがあるところではあります。

委員長

すでに解決策があるというわけではないですが、改善のために検討して進めているということですね。せっかく人に使われるようになってきている中で、何とかならないかなというところですね。

花も綺麗で、春にあそこを歩いていたら、鐘楼のところのちょっと小高くなったところにカタクリが咲いていたんですね。ですから、ヒマラヤシーダを切って、陽も当たるようになったので、花がもっとあの辺りに咲くのではないのでしょうか。そういった意味でも楽しみです、今後の利用の仕方を考えていく必要があると思っております。

特定非営利活動法人緑の相談室の皆様、ありがとうございました。

委員長

以上で3か所の都市公園についての発表を終わりますが、本日の会議の取りまとめといたしまして、各指定管理者から御説明のあったとおり、平成30年度における県立都市公園の管理運営状況は、おおむね良好であると考えられます。本日の会議で出されました御意見等につきましては、指定管理者の皆さんと事務局でさらに協議していただいて、今後の公園のより良い管理運営に反映していただければと思います。よろしく申し上げます。

.....

議事(3) その他

- 委員から発議事項なし。

事務局

一点、話題提供といえますか、報告ですが、先ほどの内丸緑地や花巻広域公園から、灰皿、喫煙対策について話が出ております。内丸緑地は、ひとまず灰皿は撤去いたしました。敷地内禁煙というところまではいっておりませんので、喫煙者の方々には、携帯灰皿を持って来ていただくとか、マナーに負うところが大きいかなと思っております。

ます。受動喫煙防止法の関係で、今、県保健福祉部のほうで、県営施設の受動喫煙防止対策等について、全般的に各関係部局も含めて検討が始まっているところでございます。もちろん趨勢としては、全体として、禁煙のエリアを増やしていくことになろうかと思いますが、そういった流れの中で、都市公園についても適切な対応をしていくと、県全体としてそういう機運の醸成の中で対応していくということを引き続きして参りたいと考えておりますので、中間報告ではありますが、話題提供とさせていただきます。

.....

5 閉会

事務局から閉会宣言